

# 質問回答書

令和元年7月25日午後2時00分更新

入札番号	311092
案件名称	ボルダリング施設新築工事（建築）（平成30年度繰越明許）
質問回答①	質問 設計施工による案件になりますが、実施設計後に参考図面と設計書内訳との差額が、発生した際の費用については、増減のないものとして認識すればよろしいでしょうか。参考内訳より増減したものに対する費用負担についての考え方をご指示ください。
	回答 ボルダリングルームの必要最小限の有効空間及び外部からの観覧のための開口部の確保ができることが条件となりますが、その空間や開口部の確保のための建物本体(柱、ブレース等の位置や本数)及び基礎の形状の変更に伴う設計数量(費用)の変更については設計変更の対象としないものとします。ただし、入札時の設計図書と同等なものかを判断するため、図面を作成し、提出していただくこととなります。
質問回答②	質問 上記質問と一部重複しますが、実施設計にてエクspansionジョイントを無くすことが設計上出来た際の費用については、増減処理を行うのか、ご指示ください。また前記の様に無くせた際は、内訳から外すべきなのかご指示ください。
	回答 エクspansionジョイントが無くても計画上・構造上支障がないことが確認できた場合は、エクspansionジョイントを無くすことは可能です。その場合、設計数量の変更に伴う費用の増減は設計変更の対象としないものとします。
質問回答③	質問 設計書に記載有ります基礎・内装における設計書内訳はあくまでも参考であり、入札書と併せて提出する内訳書は、この通りの内訳で無くても問題ないものでしょうか、ご指示ください。
	回答 入札書と併せて提出する内訳書は、直接工事費及び共通費の記載となり、基礎・内装の内訳の記載はありません。

質問回答④	質問	設計書の設計書内訳との差異により基礎ボリュームが軽量化出来た際の費用は、契約金額の【減】となるのでしょうか。逆に基礎ボリュームが大きくなってしまった際の費用は、別途契約金額【増】となるのでしょうか、ご指示ください。同様に構造設計における参考図より鉄骨メンバーの増減が発生した際の処理についてもご指示ください。
	回答	回答1と同じです。
質問回答⑤	質問	上記記載の増減に対する見解は、実施設計後の有利不利に関わらず、入札落札業者にてリスクマネジメントを行うものとして認識して、よろしいでしょうか。
	回答	貴見のとおりです。
質問回答⑥	質問	上記記載の増減に対する見解は、実施設計後の有利不利に関わらず、入札落札業者にてリスクマネジメントを行うものとして認識して、よろしいでしょうか。
	回答	計画地において地盤調査（スウェーデン式サウンディング試験）を実施しており、その試験結果を元に地盤改良（ラップルコンクリート）を計画しています。そのため、地耐力 30kN/m <sup>2</sup> （長期）、60kN/m <sup>2</sup> （短期）以上確保できる想定でいますが、仮に地盤改良の実施をしてもその地耐力が確保できないと想定される場合は、別途設計変更により対応します。
質問回答⑦	質問	ボルダリングルーム内の置床について、特段仕様明記されていませんが、通常共同住宅等で使用する一般仕様の置床で、よろしいでしょうか。もしくは、衝撃吸収型にて見込むべきでしょうか。ご指示ください。
	回答	住宅等で使用する一般仕様の置床を想定しています。